

おかえり台車 32年ぶり修理



おかえり祭りて練る美川北町の台車
5月21日、白山市美川地区

白山・美川北町

白山市美川北町は、2年後の藤塚神社の春季例大祭「おかえり祭り」に向けて、台車を32年ぶりに修理する。修理を請け負う北島仏壇製作所(同市美川新町)の職人が7日、美川浜町の収蔵庫前で台車を解体した。来年3月に完成する見込みで、県伝統工芸品である美川仏壇の粋を結集した豪華な姿がよみがえる。

2年後の祭りへ準備



美川北町の台車を解体する職人。白山市美川浜町

美川北町の台車は1827(文政10)年に造られたとされ、日本神話に登場す

る手力雄尊の人形を飾っている。台車胴体の鏡板12枚には雅楽の舞姿の蒔絵が施されており、曳き手のつなぎとして、先端が拳の形をした「蕨手」が使われている。おかえり祭りは、5月の第3土、日曜に行われる無形民俗文化財で、13台の台車がみこしを先導して美川地区を練る。みこしや台車が神社に帰る道筋「おかえり筋」は10町会が持ち回りで務めており、美川北町

は2018年に担当するため、台車を修理することを決めた。台車は蒔絵のほか、れや部品の破損など傷みが目立っていた。解体作業では、4代目塗師北島昭浩さん(51)ら職人12人がゴム製のハンマーなどをを使って台車の各部品を取り外した。今後は漆や金箔を全て塗り替え、組み物部分の金箔の上に顔料で描かれていた模様を復元させる。美川北町東町内会の区長

北川徹さん(56)は「美川北町は人口が10町会の中で最も少ないが、おかえり筋として盛大に祭りを行うため、修理することを決めた。きれいに新しくなるのが楽しみ」と話した。西新町は人形修復。来年「おかえり筋」となる西新町は、台車に載せる人形を修復する。人形は、応神天皇を抱く武内宿禰で、来年3月に完成を予定している。

日中韓 書の交流

中国で展示 小松から出品



揮ごうをする瀧さん
中国江蘇省鎮江市

第14回中日韓国際書道展(北國新聞社後援)は、中国江蘇省鎮江市で始まり、小松市と鎮江市、韓国全州市の書道家がしたためた125点が展示された。小松市書道協会の役員ら3人が4日に現地を訪れ、書を通じて交流を深めた。

小松市書道協会、墨心会、小松三湖書道会の各会員をはじめ、鎮江市書法家協会、韓国書芸研究会の書家が出展した。仮名文字や漢字、ハンゲルなど、各国の文化を象徴する作品が飾られた。開幕式では、鎮江市人民

対外友好長、小松市晴事務局。揮ごうした瀧浩輔さん(62)と書いた。国際書道展鎮江の3次回は2月開かれる。

坪田 和士ちゃん 長男
小松市大領町

上野 琢磨ちゃん 長男
白山市相木2丁目

ラオスで保育室を増設

小松東RC、現地訪問報告

小松東ロータリークラブ(RC)の例会は7日、ホテルサンルート小松で開かれ、ラオスの教育環境充実に向けた現地訪問の様子が報告された。待機児童の解消を希望する現地の声を受



例会で紹介されるラオスの保育士
小松市内のホテル

7月に迎える小松東RC創立40周年を記念し、同RCは当初、ラオスの村に保育士が宿泊、研修できる施設を開設する予定だった。同RC役員5人が今月2~5日、現状把握のため現地を訪れたところ、幼稚園への入園希望の児童が150人程度待機していたことから、保育室2部屋を増設し、計80人を受

け入れるようにする。例会では、同RCの招きで市内のこぼと保育園で研修しているラオスの保育士、シーアンパイ・シマンサンさん、オンラ・パツパフォンさんが紹介された。

高校生に職業講話

小松RC

小松ロータリークラブ(RC)の職業講話は7日、小松工高で行われ、3年生234人が同RC職業奉仕委員7人の話を聞き、進路選択の参考にした。

加賀・動橋小

加賀市動橋小の3年生30人は7日、動橋町で8月に行われる「ぐず焼まつり」

シイの木の根をさはみで切る児童
加賀市庄小



で披露する「動橋宿場音頭」を地元の民謡保存会の指導で練習し、本番に向け気持ちを高めた。児童は総合学習の授業の一環で、初めてまつりに参加することになり、今後はまつりで担ぐ「ぐず」を作

加賀市庄小

ぐず焼まつりは、田畑を荒らした怪魚「ぐず」を退治した伝説を再現し、地元青年部と児童、園児がそれぞれ「ぐず」に見立てたみこしを担いで練り歩く。

庄小シイの木 元気になって

加賀市庄小の5、6年生37人は7日、枝枯れや葉が小さくなるなどの症状が出た学校のシン

児童らが「治療」

ボル、シイの木め、同市片山津山義春さん(62)た根をさはみでせた土で覆った。シイの木は高り約2mで、昨年前に植えられや卒業生に親し庄小は、西山年からシイの木年であり、今年葉が付く成果が12日には、周が枯れる原因とツブを保護者がさんはパイプを水が行き渡る

市町議会

(7日)

防災行政無線

8月から配布

【川北町】開会1会期を13日までの7日間に決め、提出議案の説明で、前哲雄町

長は、防災行政無線の戸別受信機を8月ごろから配布することの見直しを示した。現在、親局をはじめ、屋外拡声子局21カ所の設置を進めている。戸別受信機は全家庭への配布に合わせ、取り扱い説明も行った。国民健康保険条例の改正案については、2018

年度の県へ移行に向け、加賀市、保険税増額4623円を説明し、適用する。本会議など議案が提出され、